東北大学大学院情報科学研究科 「学際的研究プロジェクト 電子自治体と住民参加」報告	
タイトル	電子自治体の推進と地域住民の参加形態の変容
研究組織	人間社会情報科学専攻 社会政治情報学講座 政治情報学分野 教授 山本啓 情報基礎科学専攻 コミュニケーション論講座 情報通信システム研究分野 教授 白鳥則郎 人間社会情報科学専攻 社会政治情報学講座 政治情報学分野 専任講師 浜田良樹 人間社会情報科学専攻 社会政治情報学講座 政治情報学分野 助手 井出知之
目的	わが国の地方自治体において事務遂行過程の電子化、選挙における電子投票の採用など、いわゆる電子自治体の実現されはじめているが、現地ヒアリング調査を行い、この進行過程を分析することを目的とする。
内容	岡山県新見市、広島市、多治見市、白石市において実施された電子投票が地域住民の参加形態をどのように変化させていくのかについて、白石市を定点観測の対象とし、行政、企業、NPOなどの地域住民組織のヒアリングを行い、その変容の実態を解明するとともに、投票機器、ディスプレイのインターフェイスなどツールや技術の改良などについても検討した。
情報科学研究科にとっての意義・貢献度	電子政府や電子自治体の推進と住民参加の形態の分析を行っていくことにより、本研究科がプロジェクト・チームをつくって、「地域デザイン」を行い、地方自治体や地域住民との間でどのような社会学連携を実現していくことができるのか、その方向性を開示する点で本研究科に貢献し得たといえる。だが、この作業はまだほんの入り口に差しかかったところにすぎず、精緻な調査報告書を提出するまでには至っていないため、定点観測を含めて、引き続き調査・研究を重ねていく意向である。